



2025 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 淀川製鋼所
代 表 者 名 代表取締役社長 田中 栄一
(コード: 5 4 5 1、東証プライム市場)
問 合 せ 先 I R 室長 出口 尊之
(TEL 0 6 - 6 2 4 5 - 1 1 1 3)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について(アップデート)

当社は、2025 年 5 月 9 日開催の取締役会において、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を評価し、改善に向けた取組状況をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以上

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について(アップデート)

2025年5月9日



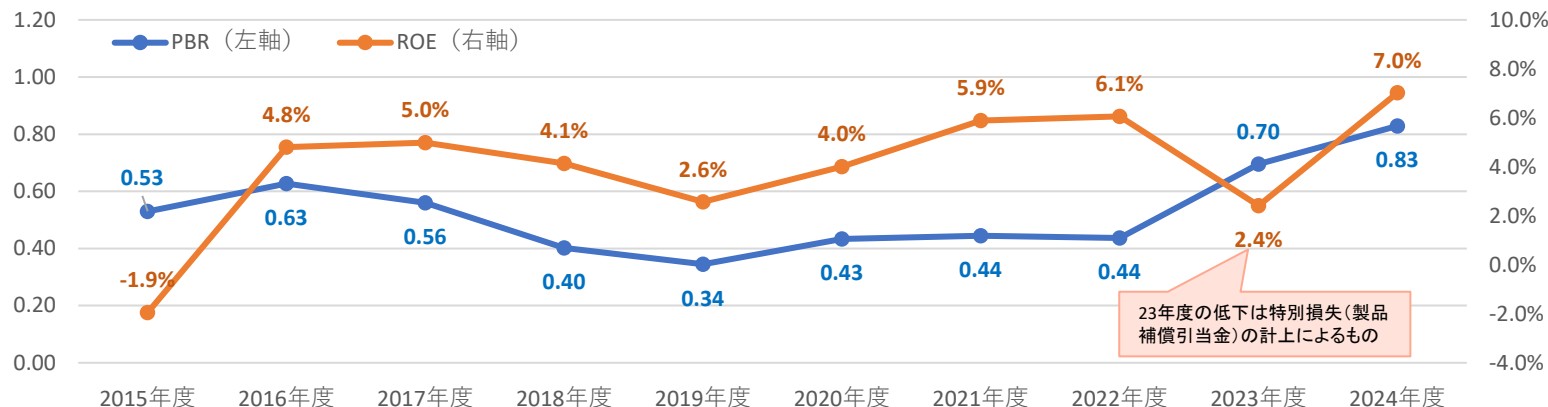
現状分析：PBRとROEの推移

■ PBR : 0.83倍

⇒ 業績の伸長や株主還元の強化による株価の上昇に伴い、過去10年で最も高い水準だが、1倍割れの状況が継続している

■ ROE : 7.0%

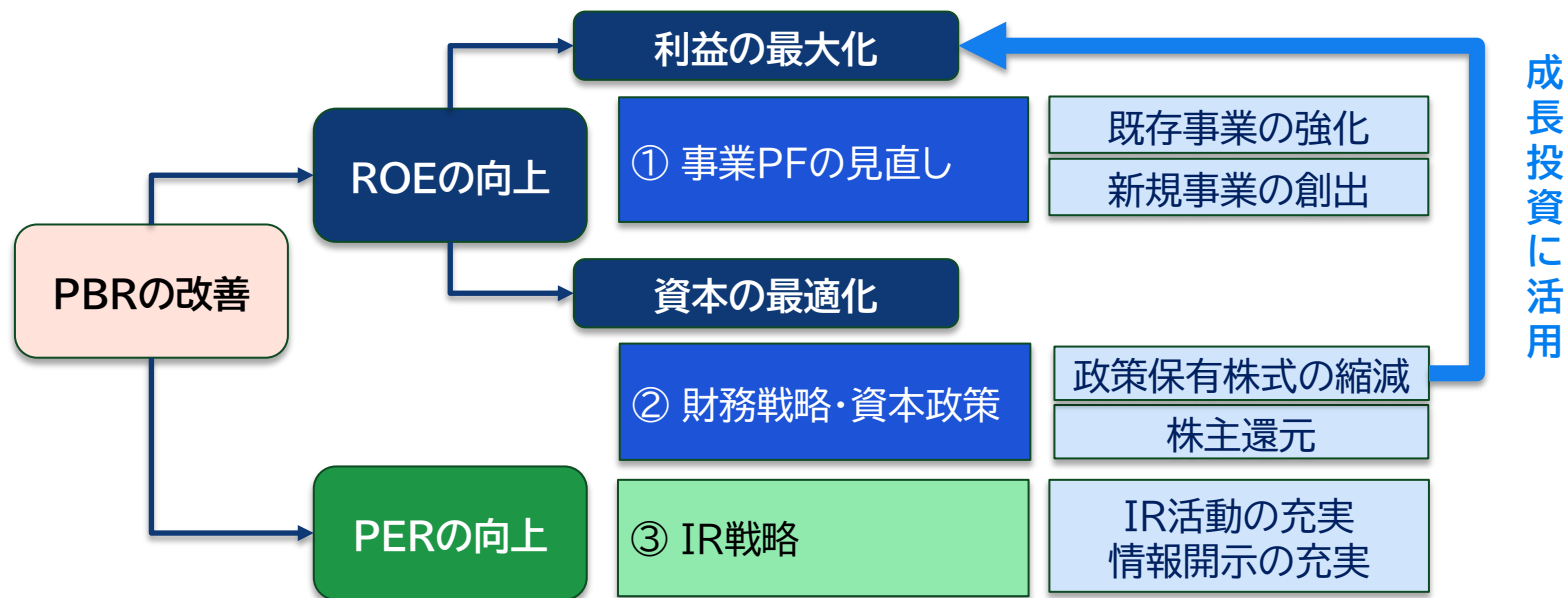
⇒ 24年度は前期比増収増益を達成し、25年度のROE目標である7%を前倒しで達成
資本収益性のさらなる向上に向けた取り組みを加速していく



株主資本コストを十分に上回る資本収益性の達成が最優先課題

PBR改善に向けた基本的な考え方

- 事業ポートフォリオの見直しによる利益の最大化と資本政策の見直しによる資本の最適化を同時に実現することで、株主資本コストを上回るROEを目指す
- 25年度のROE目標 7%は株主資本コストを十分に上回る水準ではないと認識、26年度からの第4次中計期間にROE8%以上の実現を目指す



■ 進捗状況

➤ ① 事業ポートフォリオの見直し

■ 既存事業の強化

- 競争力強化に向けた設備投資、CCCの短縮(在庫削減等)による効率化
- 事業PF改革(不採算事業の見極め、グループ再編等)の実行を見据えた検討



- ✓ 主要な海外連結子会社である台湾SYSCO社の株式追加取得により、当社の保有比率が52.1%から63.5%に上昇(24年度実績ベースで約3億円の増益効果)
- ✓ 不採算事業であったエンジニアリング事業からの撤退、中国YBMH社(非連結子会社、建材製品の製造・販売)の解散を決定、事業PF改革の実行を見据えた具体的な検討を加速

■ 進捗状況

➤ ① 事業ポートフォリオの見直し

■ 新規事業の創出

- 周辺事業を中心としたアライアンス強化や積極的なM&Aの検討・実行

- ✓ JFEスチール株式会社、JFE鋼板株式会社との建材薄板分野における戦略的アライアンスの検討を開始
 - 各社の技術力、製造能力、立地を活かした事業の協業検討
 - ・ 各社の製造ラインを活用した素材の相互供給
 - ・ 高付加価値めっき鋼板の開発における連携 等
 - 目的：競争力の確保、国内建材薄板市場におけるプレゼンスの維持拡大

■ 進捗状況

➤ ② 財務戦略・資本政策

■ 政策保有株式の縮減

【中計2025期間の縮減計画】

- 期 間：2023年4月～2026年3月(3年間)
- 縮減計画：2023年3月末の保有残高(280億円)に対して30%相当を縮減

- ✓ 2023年3月末B/S計上額を基準とした23～24年度の2年間の縮減額は43億円、縮減率は15.3%

金額単位：億円

23年3月末	26年3月末	目標(3年間)		実績累計(23.4～25.3)	
実績	見込み	縮減額	縮減率	縮減額	縮減率
280	196	84	30.0%	43	15.3%

■ 進捗状況

➤ ② 財務戦略・資本政策

■ 政策保有株式の縮減

【中長期的な縮減方針】

- 連結純資産に対する政策保有株式(B/S計上額)の割合を10%未満とする方針

- ✓ 25年3月末の連結純資産に対する政策保有株式の保有割合は13.2%(前期比0.8%減)
- ✓ 政策保有株式の縮減は進捗しているが、株式市場の上昇に伴い政策保有株式のB/S計上額の減少幅は限定的

金額単位: 億円

	23年3月末	24年3月末	25年3月末
政策保有株式保有残高 (B/S計上額)	280	299	284
連結純資産	2,019	2,138	2,151
連結純資産比率	13.9%	14.0%	13.2%

■ 進捗状況

➤ ② 財務戦略・資本政策

■ 株主還元(配当政策)

- 現行の中計期間中は、年間配当金200円以上を維持した上で、連結配当性向75%以上の株主還元を実施する

- ✓ 現行の株主還元方針である連結配当性向75%以上を堅持し、2024年度は前期比151円増配の1株当たり351円の配当(連結配当性向75.2%)を実施

■ 進捗状況

➤ ② 財務戦略・資本政策

■ 自己株式の消却

- 自己株式の保有上限基準は、発行済株式総数の10%未満を目途とする
- 自己株式300万株(消却前の発行済株式総数に対する割合8.61%)を2024年5月31日に消却予定

✓ 2024年5月31日に自己株式300万株の消却を実施(自己株式保有比率 9.2%)

■ 進捗状況

➤ ② 財務戦略・資本政策

■ 株式分割の実施

- ✓ 投資単位の引き下げにより、投資家の皆様にとってより投資しやすい環境を整え、株式の流動性の向上と投資家層のさらなる拡大を図る

分割比率

1 : 5

分割後
投資単位

約11万円

基準日 : 2025年6月30日

効力発生日 : 2025年7月 1日

※25年3月期末の株価5,590円で算定

- ✓ 分割影響考慮後の配当方針：現行の中計期間中は、年間配当金40円以上を維持した上で、連結配当性向75%以上の株主還元を実施する

■ 進捗状況

▶ ③ IR戦略

■ IR活動・情報開示の充実

- 決算説明会、投資家面談の内容充実
- 各種IRツールを通じた情報提供の充実
- 適時開示資料の英文開示対応

✓ 統合報告書の発行

- 当社グループの企業価値を持続的に向上させるための考え方や取り組みについて、ステークホルダーの皆様にご理解をより深めていただくことを目的に、本年中の発行を予定

✓ 投資家との対話機会のさらなる充実

- 積極的な投資家面談の実施、能動的なSRミーティングの開催

■ 進捗状況

➤ 企業価値向上に向けた取り組み

■ 企業理念の刷新

- ✓ 2025年1月30日の創立90周年を機に、変化に対応できる強い企業・組織へと変革し、創立100周年、さらにその先の未来に向けて挑戦し続けていくための羅針盤となるようヨドコウグループ企業理念「咲かせよう。ひと、まち、みらい。」を制定

企業理念

咲かせよう。
ひと、まち、みらい。

私たちは“柔らかな発想”と“確かな技術”で
人々の想いをカタチにします。

ヨドコウグループ 企業理念

企業理念

咲かせよう。
ひと、まち、みらい。

私たちは“柔らかな発想”と“確かな技術”で
人々の想いをカタチにします。

私たちが大切にしている価値観

- 挑戦** 社員と共に成長を続け、挑戦することを大切にします。
- 品質** お客様に満足いただける、高品質の製品・サービスを提供します。
- 誠実** 法とセラルを遵守し、信頼される組織であり続けます。
- 人** 多様性を尊重し、人々の安全と安心、そして幸せを追求します。
- 共生** 地球、社会、地域と共生します。

行動指針

- 変化を恐れず、挑戦しているか。
- ベストを尽くしているか。
- 仲間と連携し、一丸となっているか。
- 共に学び、成長しているか。
- My Action (各自が大切にしている行動指針を記入します)



■ 進捗状況

▶ 企業価値向上に向けた取り組み

- 商号変更、新ロゴマークの制定
- ✓ 企業理念の刷新に伴い、商号を「淀川製鋼所」から長年愛称として親しまれてきた「ヨドコウ」への変更を決定
- ✓ 「咲かせよう。ひと、まち、みらい。」を象徴するロゴマークを制定、商号とともに2025年10月1日から変更予定

現商号

株式会社淀川製鋼所
(英語表記: Yodogawa Steel Works, Ltd.)

新商号

株式会社ヨドコウ
(英語表記: YODOKO, Ltd.)

【新ロゴマーク】

